



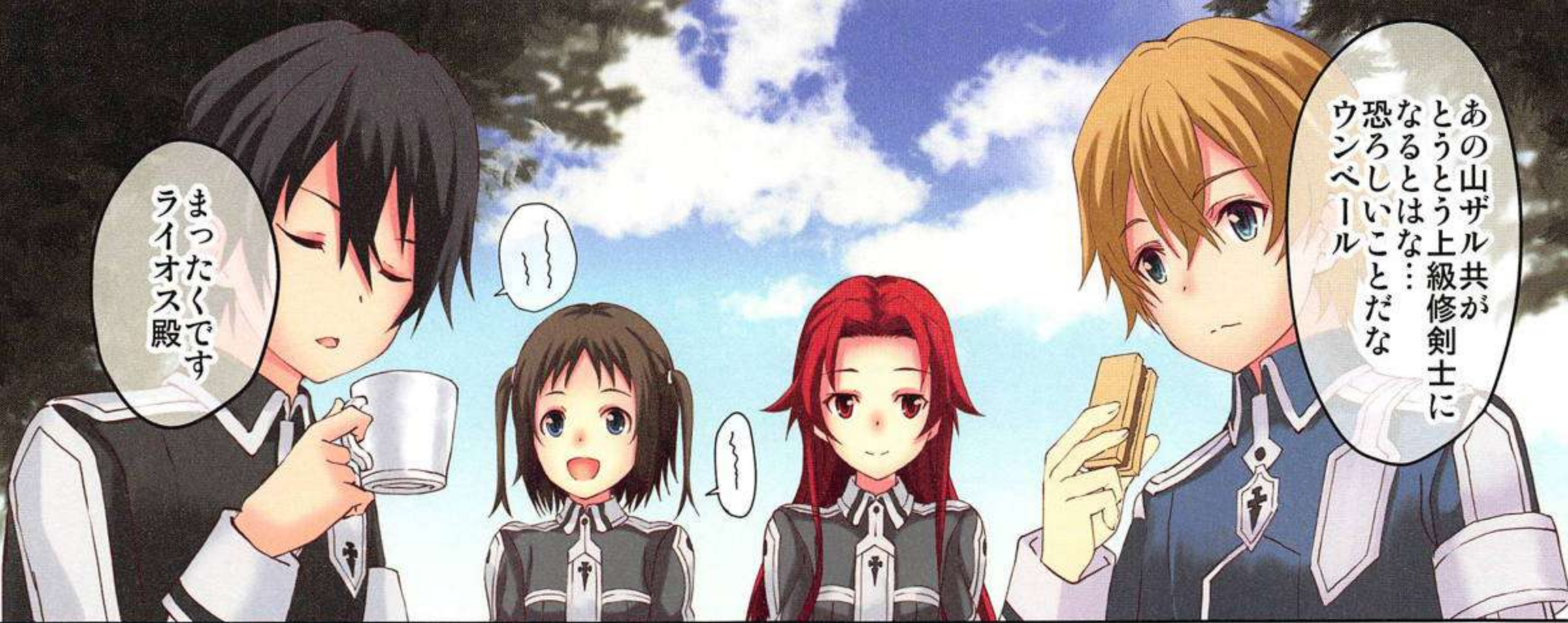
禁

忌

侵

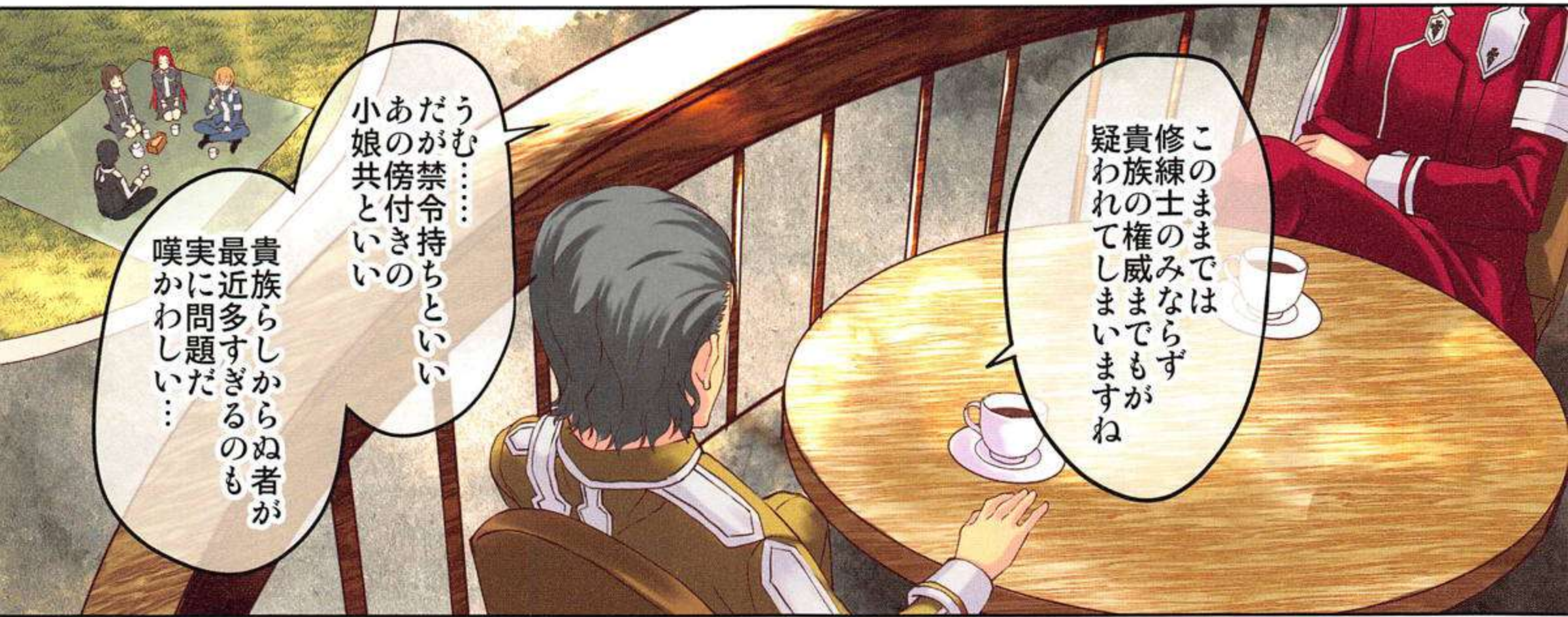
犯

**R18**  
ADULT ONLY



あの山ザル共がとうとう上級修剣士になるとはな... 恐ろしいことだなウンペール

まったくですライオス殿



このままでは修練士のみならず貴族の権威までもが疑われてしまいますね

うむ... だが禁令持ちといいいの傍付きの小娘共といいい

貴族らしからぬ者が最近多すぎるのも実に問題だ... 嘆かわしい...



確かに... それにしてもなぜセルルト殿があの山ザルなどを選んだのでしょうか

確かに... まあ所詮女ですからね案外身体で墮としたのかもかもしれませんね

よく刻限を超えて指導を受けていたようだからな

知らんよ大方汚い手を使って弱みでも握って脅したのだろう

まったく指導を... していたのやら...

きつと個人指導と  
称して――

それじゃ  
先輩――

まずは下着から  
脱いでください

こんな事……  
本当に許されると  
思っているのか  
キリト……

許されるも何も  
これは先輩の  
為なのですから  
あの手(?)が  
明るみに出たら……

わかったから……

やはりものを  
お持ちですね

これは色々  
楽しめそうだ

う……まだ誰にも  
見せたこと無いのに……

ぽん

それじゃ次は  
その立派なもので  
挟んでください

そして舌で  
奉仕するんですよ

ん…ちゅ…  
びちゅ…ん…

おや、なかなか  
上手じゃないですか  
では一度出すので  
ちやんと全部  
飲んでください

ん…  
ん…

びちゅ

ぽ  
ぽ

びちゅ  
びちゅ

んっ!  
んんーっ!!

ケホッ!  
ケホッケホッ!!

よく出来ました先輩  
それじゃこつちも  
ご褒美をあげないと  
いけませんね

え…ちよつと  
ま、待つんだ  
キリト!

ま、まさか…  
それで私の…

ええ、先輩の処女  
俺がちやんと貰って  
あげますからねー

やめて！  
キリト君！

あー  
あああっ！！

だ、だめえっ！  
いやあああっ！！

ひぐっ！

おやおや  
初めての  
こんなに  
締め付け  
先ずくは  
先輩です  
ね

やめなさい！！  
いやあああっ！！

どうやら先輩はまだ自分の立場がわかっていないようですね

あ、あああ！  
これ以上は……！  
うああ！！

やめ……て……  
おねがい……

先輩が指導しないなら俺が代わりに教育してあげますよ  
孕むまで中ね出して

はら……  
そ、そんな……

さあ  
いきますよ——

ひいっ！  
いいやああっ！

あ

う……う……  
こんなことを  
君がするなんて……

どうですか？  
傍付きに純潔を  
捧げた気分は

こんなこと？  
いえいえ  
これからですよ

え……？

せーるん

次は正面から  
顔を見ながらね

ぎゃっ！



な、中は  
ダメえ!!

あ、や—  
あああつ!!

ズ

ドクッ

ドクッ

ズ



—そんな具合に  
| 案外山ザルの  
子でも孕んで  
世間に顔出し出来ないの  
かもしれない

……う、うむ  
そ、そうかもしれんな  
まったく、これだから  
無姓の開拓民は……

貴族に対する  
心得がまったく  
なっておらぬのです

これは一度  
強く駈ける  
必要があるかと…

そうだな  
だがあの本人共に  
懲罰を課しても  
効果はあるまい

では傍付きに  
その責任を  
とってもらうのは  
どうでしょう？

あの山ザルの教育を受けた  
小娘共なら挑発すれば…

シュトリーネン  
アラベル  
両初等錬士

貴君らが犯した  
逸脱行為により  
我らは禁忌目録に則った  
貴族裁決権を行使するが  
何か反論はあるかね？

……

尚、これ以上  
上級貴族たる我らに  
礼を逸するならば  
その断罪は指導生や  
家名にまで  
及ぶ事と知れ

反論は…  
ありま…せん……



それでは——  
恭順の証として  
まずは私のモノを口で  
綺麗にして貰おうか

ひっ……!

何をためらって  
いるのかね?  
普段彼らにしている  
ことだろうか?

そんなこと……

ユージオ  
修剣士殿は……  
こんなこと  
命令したり  
しません……

ほう……  
では初めてと  
いうわけか

それなら私が  
自ら丁寧に  
教えてやる  
ことにしようか

そうだと  
舌で  
舐めるようにな

はい……

出てきた液も  
ちゃんと  
舐めとるんだぞ

……  
わかり……  
ました……

いいぞ……  
それじゃ次は  
その口で  
啜るんだ

はむ……

ちゅ……

フン、初めてのわりに  
上手ではないか  
何がした事無いだ  
いやらしい小娘共め

いいだろう  
褒美をくれて  
やろう

ピョ  
ピョ

ッ  
ッ

ッ  
ッ



さあ  
受け取れ!

ぎゃあっ!

やああっ!!

あああっ!



う...  
あ...あ...

フフフ...  
存分に堪能して  
もらえたようだな

私の貴重な子種だ  
口に入ったものは  
吐き出さずにな

...

技術はまだまだだが  
これから何度も  
指導してやるからな

よし—  
—それでは次は  
貴おつか  
お抗すれば  
お前らの指導生が  
どうなるか  
わかってるかな？

はい……  
はい……

どうぞ……

フレニーカも  
我慢した……  
だからこんな  
なんでもない事……

下着から外して  
こつちに自ら  
見せてみるんだ

これ以上のことは  
さすがにされないと  
思うけど……

ほう、なかなか  
良い身体をして  
いるじゃないか

……



どうやらお友達は  
従順なようだな

……

さあ  
ロニエ・アラベル  
お前も同じように  
するんだぞ

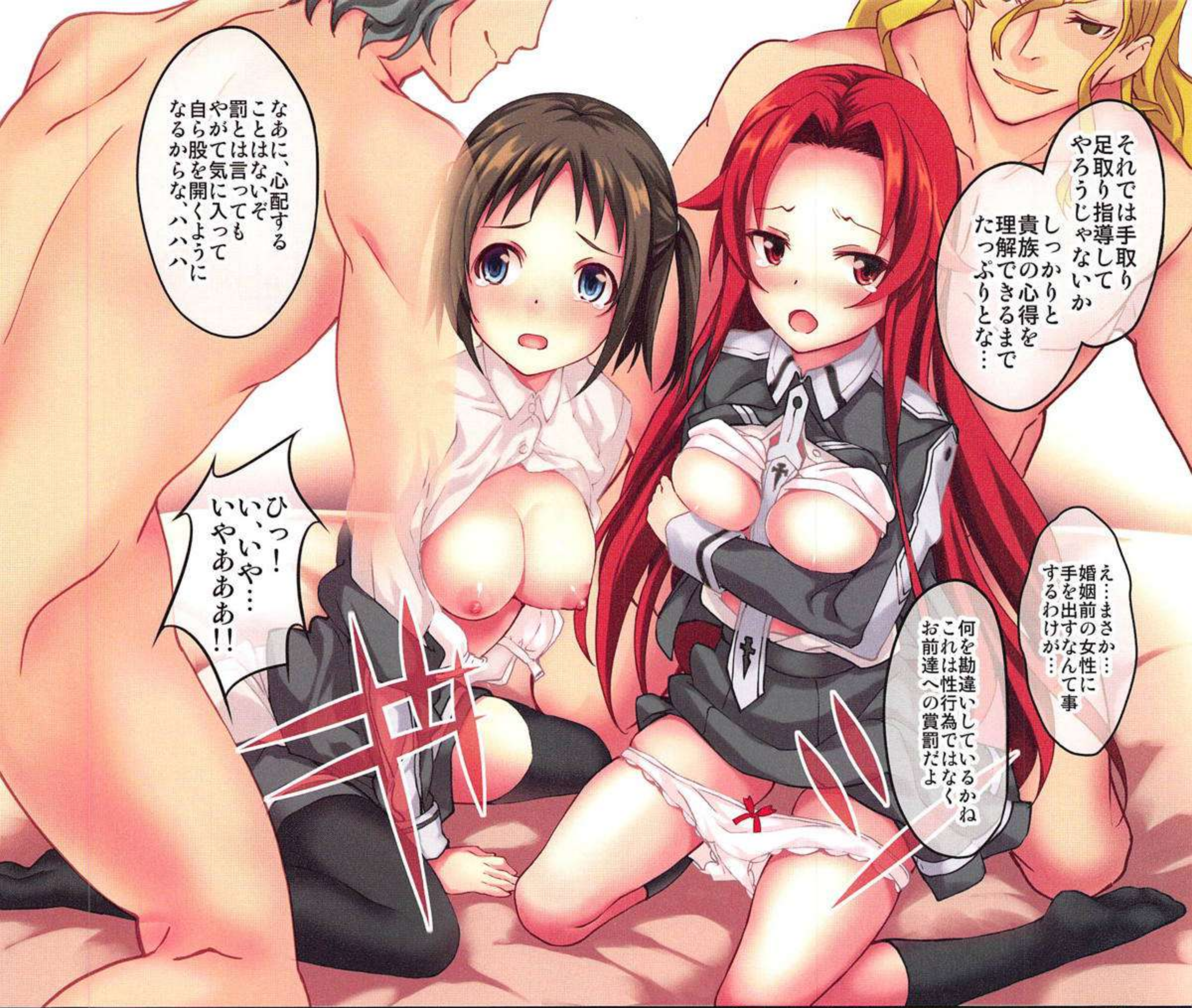
はい…

これで…  
いいのうか…?

おやおや  
意外にも胸が  
あるようだな

ティーゼが  
ユージオ先輩のために  
我慢しているから  
私もそうしなきゃ…

これはふたりとも  
楽しめそうだ



なあに、心配することはないぞ  
罰とは言ってもやがて気に入って  
自らが股を開くようになるからな、ハハハ

それでは手取り足取り指導してやろうじゃないか  
しつかりと貴族の心得を  
理解できるまでたっぷりとな…

え…まさか…  
婚姻前の女性に  
手を出すなんて事  
するわけが…

何を勘違いしているかね  
これは性行為ではなく  
お前達への賞罰だよ

ひっ！  
いやああ！！



おやおや綺麗なものじゃないか  
既にあの山猿に襲われて  
無残に膜を破られて  
いるものと思っていたんだがな

ユ、ユージオ先輩は  
こんな卑劣なこと  
絶対にしない！

卑劣？これは  
上位の貴族としての  
正当な権利であり  
正当な指導だ  
それが分かるまで  
その身体に  
教えてやろう

やい…いやあつ！  
やめて！！



大人しく私に身を委ねるがいい  
従順にするならいい  
乱暴には扱わないで  
おいてやろう

やめて！  
だ、だめです！  
ジーゼツク様！！

こちらもどうやら  
生娘のようですよぞ  
ライオス殿  
これは実に  
指導の甲斐が  
ありますな

これ以上は…  
これ以上のことは  
やめてください…



いくぞー

ひいっ！



さあ力を抜き  
貴族の慈悲を  
受け入れるがいい

や…



だめえっ！！  
やあああっ！！

いやあああ！！

痛っ!!  
やああっ!!

どうだ?  
男に初めてを  
捧げた気分は?

う、うあああ……  
ああああ……!

どうやら  
私に純潔を捧げた  
感動で泣いている  
ようだな  
その想いに免じて  
優しく可愛がって  
やろうじゃないか

いやあ……

もういやあ……  
たすけて……  
ユージオ……  
せん……ばい……

ああっ

ひっ

どうだ?  
これが本当の  
貴族の男と  
いうものだぞ

やはり貴族は  
貴族同士で  
楽しむのが  
相応しいかと  
思わないか?

あ、あああ……  
うごかないで……

もうすっかり  
奥まで入ったな

う……ああ……

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ひいっ!!  
やああっ!!

くく…  
なかなか  
気に入ったぞ  
シュトリーネン  
家の娘よ

これからは  
突きまくって  
膣を俺の形に  
変えてやる  
からな

私の妻には無理だが  
寵妾として飼って  
やろうじゃないか

あっ!!  
あああっ!!

それにしても  
小さいくせに  
まったくイヤらしい  
身体をしやがって

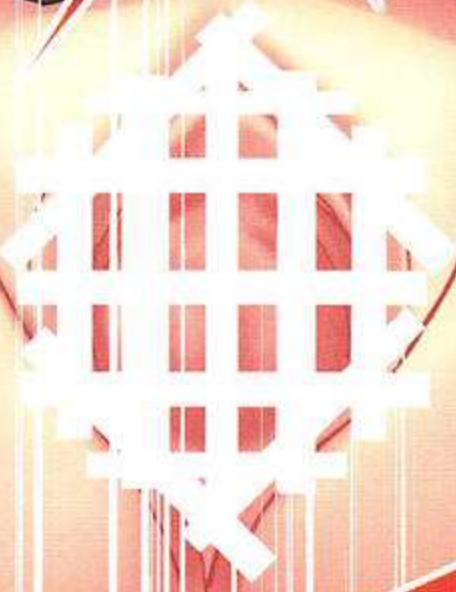
どうせもはや  
傷物なのだから  
精々私の道具として  
性処立つがいに  
役に立つがいい

いやっ!!  
そんなのいやあ!!

お、奥に  
あたって…  
ひっ、ひぎいっ!!  
う、あああ!!

男を淫らに誘惑する  
こんな身体の持ち主には  
さらなる処罰を  
しないとイケないな

そんな…  
言いがかりです…  
う、あああ…







さあ  
そろそろだ

ほら、中に出して  
くださいと  
お願いするのだな

そんなの  
するわけ……  
ない……!!

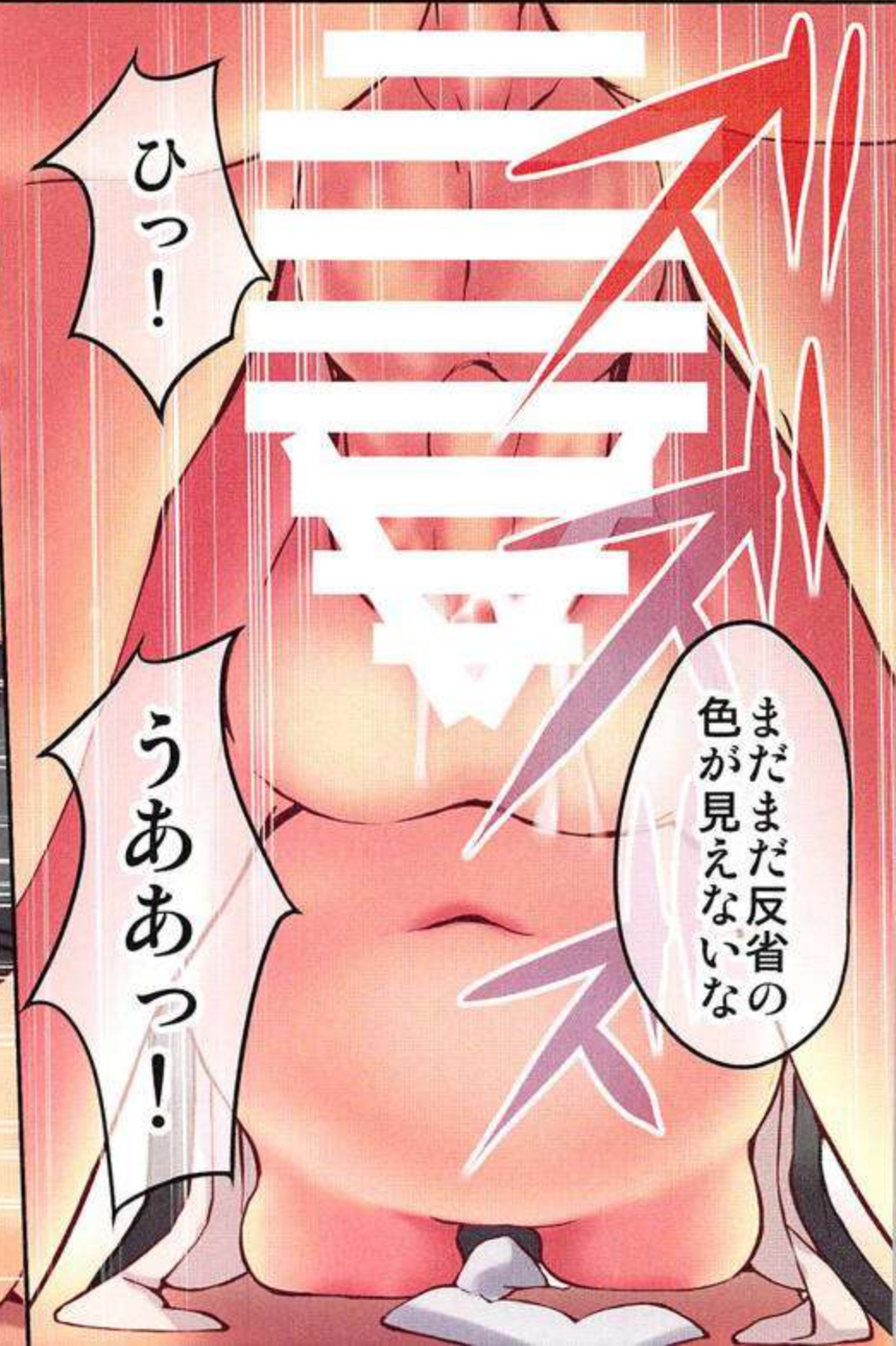
やい……や……  
やめ……て……



これは念入りな  
調教が必要だな

ひっ……  
や、やめ……

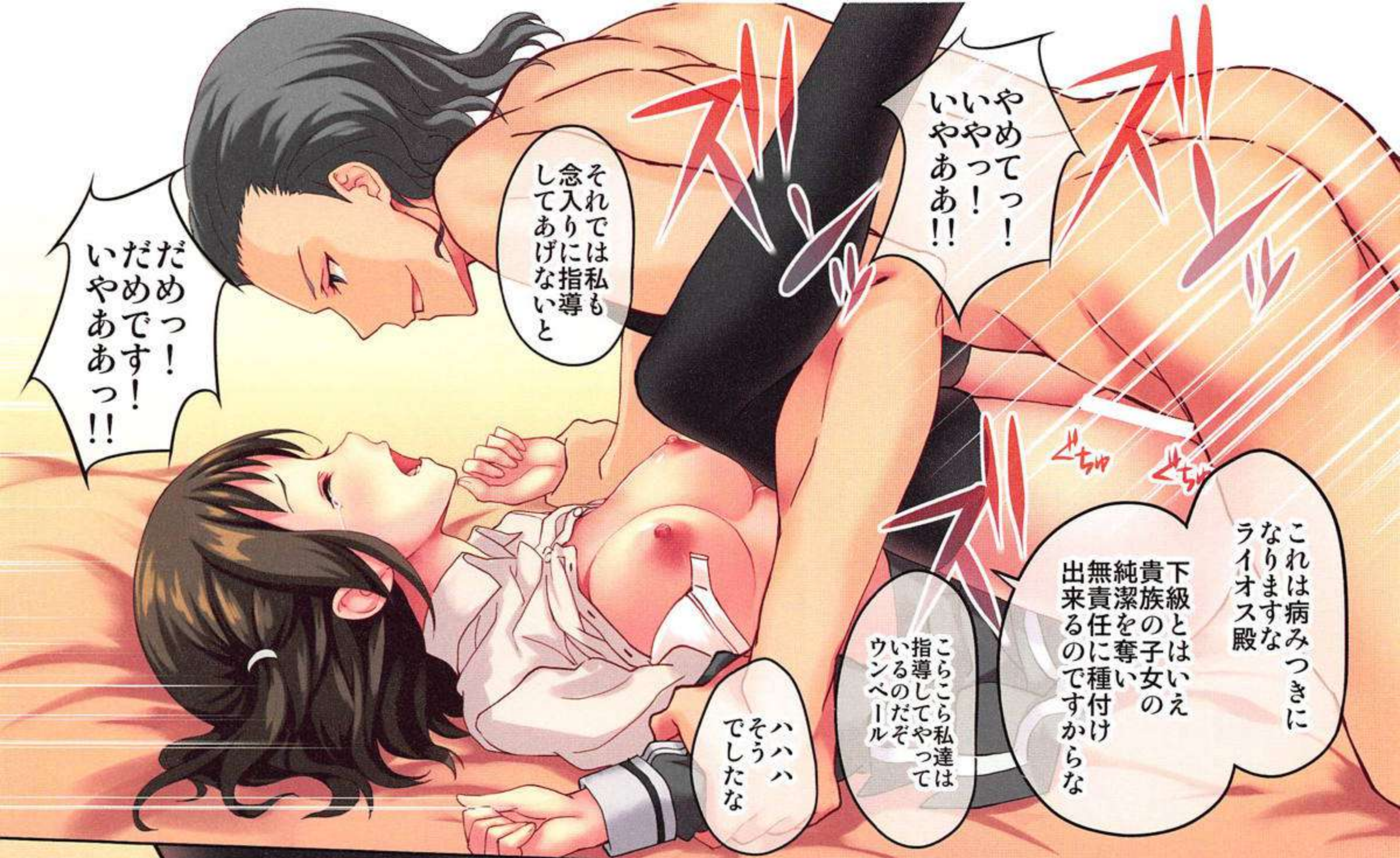
とりあえず  
最初の躰として  
溢れるくらい  
込に注ぎ  
込んでやろう



ひっ!!

うああっ!!

まだまだ反省の  
色が見えないな



やめてっ!  
いやあ!!

それでは私も  
念入りに指導  
してあげないと

だめです!!  
いやあ!!

これは病みつきに  
なりますな  
ライオス殿  
下級とはいえ  
貴族の子女の  
純潔を奪い  
無責任に種付け  
出来るのですからな

こらこら私達は  
指導してやって  
いるのだぞ  
ウンペール

ハハハ  
そう  
でしたな



い、いやあ  
ああああ!!

さあ存分に  
感謝するがいい!  
私の慈悲にない!!

疼

いくぞー  
孕め！

いやあっ！！

あ、ああっ！！

だだだ  
めめめ  
えええ  
っっっ  
！！！！

うああっ！！

さてー  
それじゃ懲罰は  
終わりに  
このからは  
調教の時間だ

よし、こっちも  
挿れてやるぞ…

やああ!!  
こんな…の…  
いつしよに…  
はいら…ない…

ひびくっ—!

あ、あああ…

女は入るように  
出来ているのだよ  
色々と  
教えてやるから  
覚えておくんだぞ

いやあ……  
あ、あああ……

下の口だけじゃなく  
上にもしつかりと  
飲ませてやるからな

んっ!  
んむっ!!

んんっ!  
んんん—!!

ふむ、これは  
なかなか良い  
肉壺だな  
ウンペール

ええ、これなら  
存分に楽しみ  
そうですな

ふう…  
流石にもう体力が  
持たないな

続きはお前たちの  
指導生が来て  
からとしよう

ロニ…エ…  
う…うう…

ティ…ゼ…  
あ…あ…

どうした？  
何も心配する  
事はないぞ

傷物になったり  
孕んだりしても  
あいつら等ならちゃんと  
大事にしてくれる  
だろうからな、フフフ…

ゴポ  
ド…

ド…  
ゴポ

—そんなことを  
想像しますと  
股間が膨らみますな  
フフフ…

面白い案だが  
頼むから私の前で  
滾らせないでくれ

ムンムン

## 禁忌侵犯

発行 : セブンデイズホリディ  
(<http://howlingmine.com/7dh/>)  
制作 : 篠川あるみ / 古我望  
発行日 : 2018年12月31日(初版)  
連絡先 : [7dh@howlingmine.com](mailto:7dh@howlingmine.com)  
印刷所 : プリントネット株式会社

万が一、落丁乱丁等の不備がございましたら、上記メールアドレスにご連絡ください。  
本書の一部、または全部を無断で複製、複製することは法律で定められている場合を除き、著作権侵害となります

